

第20巻 PDF 読本



土讃線（窪川～多度津）

予土線（北宇和島～若井）

中村・宿毛線（窪川～若井～中村～宿毛）

2024年8月17日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 土讃線（窪川～須崎：営業キロ 30.0 km）・・・5

第2章 土讃線（須崎～阿波池田：営業キロ 124.8km）・・・19

第3章 土讃線（阿波池田～多度津：営業キロ 43.9 km）・・・59

第4章 予土線（北宇和島～若井：営業キロ 76.3km）・・・103

中村・宿毛線（窪川～若井～宿毛：営業キロ 66.6km）・・・

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 15 弾目として、予讃線や徳島線に接続する、四国 4 全県を走る、予土線、中村・宿毛線、土讃線の旅（営業キロ 341.6 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 29 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。（2017 年 8 月～2023 年 2 月で踏破）

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真を取りながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅”PDF読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第14編（日本横断歩き鉄の旅）

土讃線・赤穂線



高知駅
武市半平太、坂本龍馬、中岡慎太郎

2021年8月23日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第33編（日本横断歩き鉄の旅）

予土線 土佐くろしお鉄道 (中村・宿毛線)



宇和島城

2023年3月5日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 土讃線（窪川～須崎）

第1節 旅プラン

平成29年8月5日（土）～8月10日（木）の四国沿線の旅（5泊6日）は、台風の影響で当初の予定を一部変更し、次のプランで臨む。すなわち、当初の予定の伊予長浜から宇和島までの予讃線（64.5km）と予定を変更して急遽思いついた窪川から須崎までの土讃線（30.0km）を踏破する。今回の歩きも8月5日（土）、旅行前にカッシー館で予定を公開した。ほぼ予定通り進み大満足の旅となった。

この結果、予讃線の全線（高松～松山～宇和島：291.3km）が踏破できる。加えて、全国47都道府県のうち、高知県が新たに加わり36都道府県に足を踏み入れることとなった。残るは、秋田県・山形県・富山県・石川県・鳥取県・島根県・徳島県・大分県・宮崎県・長崎県・沖縄県の11県。また、通算営業キロは9,173km（活動日数456日）となる。



○8月5日（土）

ひかり467号 新横浜10:22 → 岡山14:19

しおかぜ15号 岡山14:35 → 松山17:24

チェックイン松山泊 089-998-7000

○8月6日(日) 予讃線の歩き

松山 6:04 → 伊予長浜 7:18

伊予長浜～伊予出石～伊予白滝～八多喜～春賀～五郎～伊予大洲～西大洲～伊予平野～千丈～八幡浜 (29.7 km)

八幡浜 18:26 → 宇和島 19:36

宇和島オリエンタルホテル泊 0895-23-2828

○8月7日(月)

宇和島闘牛場の散策、茨城県立大洗高校マーチングバンド部の演奏会鑑賞

宇和島オリエンタルホテル泊

○8月8日(火) 予讃線の歩き

宇和島 5:33 → 八幡浜 6:03 (宇和海2号)

八幡浜～双岩～伊予石城～上宇和～卯之町～下宇和～立間～伊予吉田～高光
～北宇和島～宇和島 (34.8 km)

宇和島オリエンタルホテル泊

○8月9日(水) 土讃線の歩き

宇和島 6:04 → 窪川 8:09 : 予土線の観察

窪川～仁井田～六反地～影野～土佐久礼～安和～土佐新荘～須崎 (30.0 km)

須崎 17:55 → 高知 18:34 (あしずり8号)

ホテルNo1.高知泊 088-873-3333



五日目の2017年8月9日（水）、うす曇りの中、宇和島（6時4分発）から”鉄道ホビートレイン”に乗車し予土線の終着駅窪川まで向かう。予土線は北宇和島駅から若井駅までの営業キロ76.3km。宇和島＝北宇和島（1.5km）と若井＝窪川（4.4km）は、それぞれ予讃線、土佐くろしお鉄道の路線である。この列車は鉄道ホビートレイン（へんな鉄道！？：山奥を走る四国の新幹線！？）のためか、雑誌社の方と吉野生（よしのぶ）駅までご一緒させて頂く。半家駅と江川崎の間で県境があり、愛媛県から高知県となる。四国に住みながら初めて通過する沿線だけに興味津々だった。四万十川の風光明媚な景観を楽しながらの約2時間を過ごす。「いずれはこの予土線もいつか是非踏破したいもの」だと強く感じる。



写真補足コメント：
 鉄道つたい歩きの旅行記ブログ「カッシー館」を運営する榎原勉さんと盛り上がる
 （吉川正洋さん（ダーリンハニー）とご一緒させて頂く）

「旅と鉄道」2017年11月号に出る



吉野生駅（雑誌取材者下車） 四万十川の景観



窪川駅

窪川駅には8時9分到着。そして、営業キロ30km先の須崎駅に向けてスタート。影野駅から土佐久礼までの営業キロ10.7kmは10位トンネルまたトンネルかつアップダウンがあり相当のエネルギーを消耗した。加えて、土佐久礼駅～安和駅～土佐新荘駅も同様に山とトンネルの連続であった。その中で、安和駅のホームからは太平洋が一望できた。終日風光明媚な景観を楽しみながらやっと須崎駅に17時45分到着。



高知駅



武市半平太、坂本龍馬、中岡慎太郎

運よく10分の待ち合わせで特急あしずり8号があったので、この特急で高知駅（18時34分）へ。そして、タクシーで”ホテルNo1.高知”へ。ホテルの屋上には露天風呂があり、よさこい祭り（前夜祭）の花火を楽しむ。汗を流した後は、日曜日以外20時から翌朝3時まで営業している屋台（松ちゃん：タクシーの運転手さんからゲット）で一杯飲みながら高知の夜を楽しむ。その後、ホテルでマッサージを頼みバタンキュー。充実した一日であった。

この日の歩きの道中記は次の通り。窪川駅に8時18分到着。初めてこの地を踏み、北海道や九州とは異なる親近感で一杯となった。将来、予土線や土佐黒潮鉄道の踏破を考え、この地に宿泊する箇所があるか否かを土佐くろしお鉄道の観光案内所に立ち寄るがわからず。200m位の旅館案内所に聞いて下さいとタライ回しされる。先を急いでいたので、先程の提案をパスする。ここでも駅前を100m位出た先が交差点となり、高知への第1歩がどちらの方向に進むべきか不安となり、近隣の方のお世話になる。方向を見定めた先に153mの呼坂トンネル(274m)がある。8時46分、四万十町根元原という交差点で国道56号線にぶつかる。左手に土讃線の線路が見え、また列車の走る音が聞こえ安堵する。8時53分、交通霊社前を通過。8時56分、高知65km、須崎8時56分の道路標識を見かける。9時7分、観光物産センター前で腹痛を覚え、安全のためトイレ休憩する。9時18分、134歩ある仁井田川を渡る。9時22分、右手に道の駅“めぐり窪川”があった。9時51分、本日最初の仁井田駅に到着する。



仁井田駅

六反地駅

10時、高知62km、須崎27kmの道路標識前を通過する。10時26分、六反地(ろくたんち)駅に到着。10時32分、四万十町立光保育園前を通過。10時37分、四万十町山株を通過。その先に大山野神社があり。本日の安全祈願をする。10時40分、JR線下を潜り。鉄道の左側となる。偶然にも陸橋の上で作業をしていた。この陸橋は川も跨いでいた。10時53分、下り列車と対面する。10時56分、水辺の公園前を通過。11時4分、幹線道路に影野駅への案内板があった。白い駅舎をもつ影野駅には11時6分到着。



影野駅 土佐久礼駅

11時14分、高知57km、須崎22km地点に到達。11時17分、座禅道場とお雪椿前を通過。ここから、本日最大の駅舎間隔10.7kmがある土佐久礼駅を目指し登山が始まる。12時11分、七子峠中土佐町へ。12時18分、大坂谷橋を通過。ここからトンネルのパレードとなる。

トンネル名	到達時刻	長さ	万歩計
久礼坂第四トンネル	12時23分	208m	266歩
久礼坂第三トンネル※1	12時51分	100m	284歩
久礼坂第二トンネル	13時12分	82m	145歩
久礼坂第一トンネル※2	13時17分	78m	?
久礼トンネル	14時2分	75m	130歩

※1. 12時29分、高知まで53kmの標識があった。12時53分、特に白い橋が見えてくる。暫くこの橋を眺めての歩きとなる。12時55分、橋がかなり近くに見えて来る。12時56分、山から“こけこっこ”の鳴き声が聞こえてくる。第三と第二の間に宮の前橋がある。13時3分、ほぼ前方に白い橋が見える。13時10分。第一橋川橋を通過。

※2. 13時45分、道路下に民家が見えてくる。しかし、ここから土佐久礼駅まで遠しかった。

14時13分、土佐久礼駅への案内板を見つけるが中々行けず。ここでも近隣の方にお世話になる。「ガソリンスタンドを曲がった先にある」とのことだった。JR下を潜った先に土佐久礼駅があった。特急停車駅だけあり、駅前にはタクシーが2から3台見えた。再度、JR下を潜り幹線道路に戻る。14時30分、高松が本店の宮脇書店新中土佐店があった。記憶の限りでは彦根や流山界限でも宮脇書店を見かけ

た。嬉しい限りだ。14時38分、150歩ある大川橋（大川川）を渡る。14時52分、鉄道を跨ぎ、鉄道の右側となる。14時56分、高知45km、須崎10km地点に到達する。体が少し火照りつつあったが、15時29分、966mある焼坂トンネル（1,196歩）が喫茶店がわりとなり助け船となった。15分位の涼しいトンネルで冷やして頂く。感謝また感謝の時間・空間であった。このトンネルを出ると須崎市（15時44分）だった。15時55分、高知まで41km地点に到達。15時58分、森の駅の看板前を通過。16時、小高いところに駅らしきものが見えたので近づくが誤り。ここでも近隣の方のお世話になり、安和駅を教えて頂く。16時8分、JR線下を潜る。潜った先を鉄道に沿った上り坂を歩いた先に安和駅（あわ）が16時10分あった。駅は高台にあったため、太平洋が一望できた。ここからもトンネルが続く。

トンネル名	到達時刻	長さ	万歩計
安和トンネル	16時16分	245m	371歩
久保宇津トンネル	16時36分	130m	235歩
角谷トンネル	16時41分	120m	？



安和駅

土佐新庄駅

16時47分、704歩ある新庄橋（新庄川）を渡る。17時5分、1044歩ある橋を渡る。右手には水色の高速道路の橋が印象的だった、17時16分、土佐新庄駅に到着。ここから路地をつたい歩きして須崎駅に向かう。ここでも数人の方のお世話になる。意外に遠かった。17時9分、やっと終着の須崎駅に到着する。特急で高知駅へ。高知駅からはタクシーでホテルNo1.高知（904号）へ。露天風呂からの花火と屋台（松ちゃん）での祝杯、そしてマッサージと充実した一日を過ごさせて頂く。天や神に感謝あるのみ。本日の営業キロは30km、万歩計は54,670歩だった。



須崎駅



ホテルからの花火 松ちゃん

<六日目（高知城散策の巻）>



ホテル No1 高知

5泊6日の最終日である平成29年8月10日(木)は、ホテルNo1.高知で7時過ぎ豪華なバイキングを頂き、9時半頃チェックアウト。ホテルから徒歩で10分先の高知城に向かう。高知城の辺りは”よさこい祭り”の準備で賑わっていた。



よさこい祭り



高知城周辺イメージ

功名が辻



高知城

高知城訪問は小学校6年の修学旅行以来で実に五十数年の歳月が流れていた。この城は当時訪問した際、靴を間違えられた苦い経験が今でも強く印象に残り、とても親近感

を覚える思い出の城であった。2006年NHK大河ドラマで放映があった”功名が辻”の
写真（上川隆也と仲間由紀恵）が城内にあった。この城内の界隈で2時間位寛ぐ。そし
て、よさこい祭り一色の高知の街並みを歩いて高知駅へ。途中物産店（とさ屋）に立ち寄
りお土産（竜馬がゆく）を購入。駅前には幕末の英雄、武市半平太、坂本龍馬、中岡慎
太郎の像があった。楽しく懐かしい高知城散策の数時間であった



千代



山内一豊



山内容堂屋公誕生の地前



物産店



高知駅発 13時13分の南風16号で、一杯飲みながらかつ今後の土讃線踏破のため沿
線を観察しながら香川の実家に向かう。半日は台風で動けなかったが、それ以外は天気
にも恵まれ実りある5泊6日の旅であった。大洗高校のコンサート（美空ひばりの愛燦

燦に登場する” 人生って不思議なものです”) を思い出す・・・。正に天や神に感謝する旅であったからだ。



高知駅



御免駅 大歩危 (おおぼけ) 駅

<七日目（四国沿線の旅まとめの巻）>

平成 29 年 8 月 11 日（金）、昨年函館界限（桔梗駅近辺）の赤松街道でお知り合いになった高野光生氏と 1 年振りに故郷讃岐で旧交を温める。旅また旅を中心に楽しい愉快的な時間を過ごさせて頂く。なお、高野氏は街道歩きの専門家で、本年秋八代から佐多岬までを、私の” 鉄道つたい歩き” のアングルとは異なるが、日本列島縦断達成予定とのこと。加えて、高校の先輩の佐藤明弘氏も本年 5 月に自転車で日本列島を達成されている。YAHOO 検索キーで” 日本縦断達成者” または” 日本縦断達成” をサーチすると上位に佐藤氏と私の名前が登場する。「類は友を呼ぶ」の格言や「人生って不思議なものです」を強く感じる一日でもあった。



高野氏の再会（北の商にて）

8月19日（土）、”四国沿線の旅”に関し、次のようなエールを頂き、感謝また感激。旅っていいものですね……。四国沿線の旅の集大成がグッドタイミングで執筆でき大変感謝しています。人生って嬉しいものですね……。



♪♪♪……………♪♪♪……………

榎原 勉 様

四国沿線の旅のブログ、楽しく拝見しました。予讃線踏破、まずは、おめでとうございます。全都道府県足踏み入れに向け、着実に前進していますね。

台風の影響で予定変更など大変だったと思いますが、臨機応変に前向きに対応で旅を楽しんでいる様子、さすが旅の達人だと感心します。

今回歩かれた伊予長浜から宇和島そして窪川から須崎は、トンネルが多く歩くのにご苦労されたのではと思います。特に、下宇和駅と立間駅間にある法華津トンネルは、約1.3kmと長くその上歩道が段差もなく狭かったはずで、よく歩けたものだと感心します。小生も昨年北海道縦断の歩き旅をした時、定山溪温泉の手前の定山溪トンネルで、トラックが通る度に身の危険を感じ往生したことを思い出しました。なお、小生の街道歩きでは、この付近は宇和島街道があり、その道は法華津トンネルの山上の法華津峠を越え九十九折れて通っているようです。何時の日か挑戦出来ればと思っています。

まだまだ、「こだわり鉄道つたい歩き」は続くと思いますが、お身体に気を付けて益々のご健闘をお祈りします。また、香川にお帰りの時は声をかけてください。楽しみにしています。

高松市 高野